



2025年4月9日

各 位

会 社 名 株式会社 GENDA
代 表 者 名 代表取締役社長 申 真衣
(コード番号：9166 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取締役 CFO 渡邊 太樹
(TEL 03-6281-4781)

**当社連結子会社による Player One Amusement Group Inc. を傘下に有する
Pixel Intermediate Holding Corporation の
株式の取得（連結子会社化）に関するお知らせ**

株式会社 GENDA（本社：東京都港区、代表取締役会長：片岡 尚、代表取締役社長：申 真衣）及びグループ会社（以下、「当社グループ」）は、当社の連結子会社である Kiddleton, Inc.（本社：米国テキサス州ダラス、President & CEO：伊与田 篤、以下「Kiddleton」）が、アミューズメント施設の運営等を行う Player One Amusement Group Inc.（本社：カナダ オンタリオ州）等をグループ企業に持つ Pixel Intermediate Holding Corporation（本社：米国デラウェア州ウィルミントン、以下当該グループの総称を「PLAYER ONE」とする）の株式の100%を取得し、連結子会社とすることについて、本日開催の取締役会において決議いたしましたことを、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 取得の理由

当社グループは、「世界中の人々の人生をより楽しく」を Aspiration（アスピレーション＝大志）に掲げ、その実現のためグローバルにエンターテインメントのネットワークを構築し、世の中に流通する「楽しさの総量」を増やすことを目指しております。M&Aによって当社ならではのエンタメ経済圏を構築する過程において、アミューズメント施設のロールアップ M&A を戦略の第一目一番地としながら、アミューズメント施設運営とシナジー効果の期待できるエンターテインメント企業及び事業等の M&A も積極的に実施し、当社グループ内の企業間で相互に事業拡大及び利益貢献する構造を構築しております。

当社グループにて米国ミニロケ事業を行う Kiddleton は、従来は米国の市場に存在しなかった日本式の小型プライズゲーム（景品を獲得することを目的としたアーケードゲーム）機と、日

本風の「Kawaii」デザインのプライズ（景品）を取り扱っており、「ここでしか手に入らない商品、ここでしかできない経験」にこだわり、独自性を持って事業展開しております。Kiddleton は 2024 年 11 月に National Entertainment Network, LLC（以下「NEN」）を傘下に有する Claw Holdings, LLC の持分の 100%を取得いたしました。NEN は全米をカバーする約 10,000 箇所のミニロケ拠点網を有し、Kiddleton による持分取得後は、従来米国において手に入りづらかった日本のプライズを全米に届ける巨大プラットフォームとなっております。当社グループは、NEN のグループイン直後から既存のプライズゲーム機から Kiddleton 式のプライズゲーム機への入替等の施策を推進しております。その結果、入替を実施したミニロケの売上高は、入替前と比較し大きく伸長し、PMI を実施した店舗の平均売上高は約 3 倍となっております。（※1）

PLAYER ONE は 1975 年に創業し、北米地域においてアミューズメント施設の運営等を手掛けてまいりました。2012 年よりカナダで映画館の運営などを手掛けるエンターテイメント企業である Cineplex Inc. の傘下にあったところ、2024 年 2 月にプライベートエクイティファンドである Open Gate Capital 社により M&A されました。

PLAYER ONE は、Route Operations 事業と Sales & Distribution 事業を手掛けています。Route Operations 事業ではゲームセンター104 店舗、ミニロケ約 2,000 箇所を運営し、中でも映画館や FEC (Family Entertainment Center) 等の大型エンターテイメント施設への出店に強みを有しております。Sales & Distribution 事業では、ゲーム機等の販売及び卸売を手掛けております。これまで Kiddleton や NEN が手掛けてきた食品スーパーやモールの空きスペースに設置するミニロケは省スペースでも開店が可能で、小規模ゆえ投資金額も限定的であるため投資回収期間が早いビジネスモデルでしたが、PLAYER ONE は 1 拠点当たりのゲーム機の設置台数が多く、長期的な契約が見込める拠点の展開に強みを有しているため、安定的に一定規模のキャッシュフローを創出することが可能です。この M&A により、2027 年 1 月期の北米における当社グループの売上高は、※2 記載の方法による単純合算による試算値ベースで、合計約 300 百万米ドル（約 440 億円）となり、北米比率は約 25%を占めるものと試算されます。（※2）

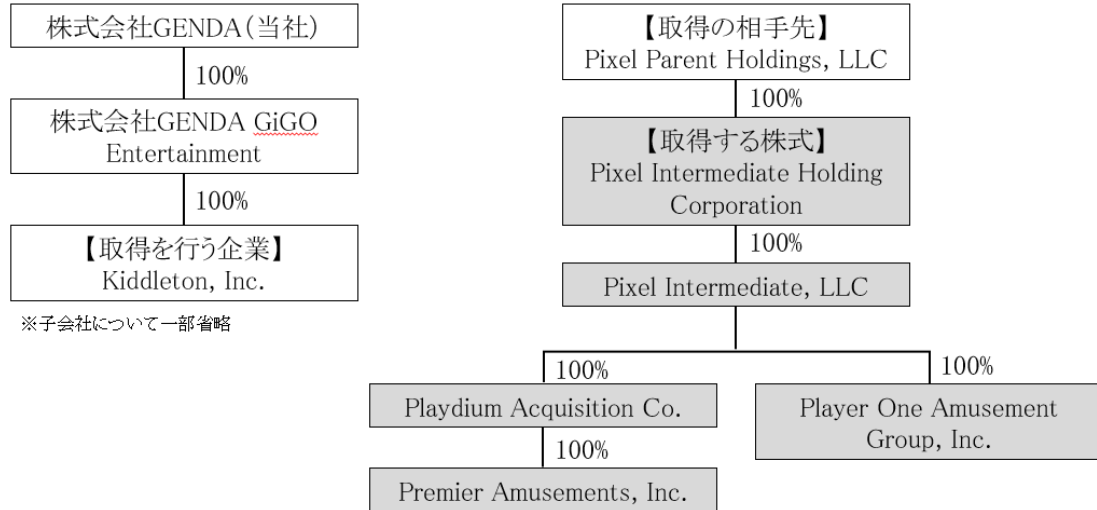
当社グループが PLAYER ONE を取得した後は、NEN に対する PMI 施策と同様、PLAYER ONE が持つ巨大なネットワークにミニクレーンの設置や「Kawaii」景品の他、今後予定されている日本アニメ IP も含めた当社グループならではの景品を導入し、更なる売上の増加を見込んでいます。さらに Kiddleton が有するノウハウの共有、メンテナンスネットワークの統合、現金回収やプライズ補充などのオペレーションの統合、及びゲーム機器調達機能の活用等、経営の効率化も進めてまいります。これらの施策を実行することにより、直近決算期である 2024 年 12 月期実績で 18 百万米ドル（約 26 億円）であった調整後 連結償却前営業利益は、中長期的には 35 百万米ドル（約 52 億円）まで向上することを期待しています。

「世界中の人々の人生をより楽しく」という Aspiration（アスピレーション＝大志）の実現のため、当社のエンターテイメントのネットワークをグローバルに広げ、世界中のお客様にお楽しみいただけるよう、今後とも魅力的な施設づくりに邁進してまいります。

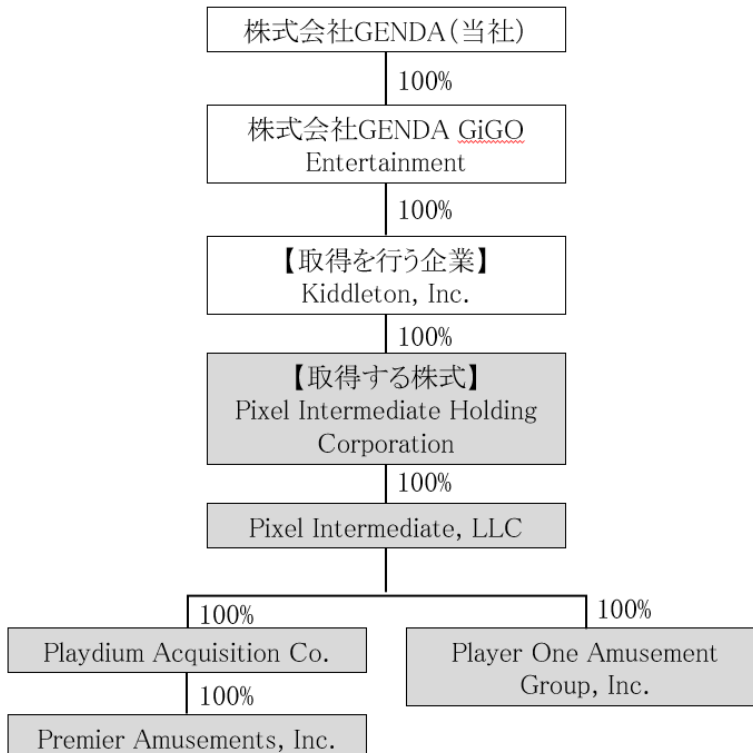
- (※1) 2024年11月～2024年12月までにゲーム機と景品の入れ替えを実施した拠点101箇所のうち、14日以上営業した拠点67箇所の売上データについて、実施前後同日数の1日当たり平均売上高を比較
- (※2) PLAYER ONEの業績は、2027年1月期より当社の連結業績に通年寄与するため、2027年1月期におけるPLAYER ONE参画後の当社グループの北米における売上高の規模感を示すため、2025年3月12日に公表した当社の2026年1月期売上高計画値を2027年1月期にも据え置きしたうえで、PLAYER ONEの2025年12月期の当社計画値を合算することにより算出した試算値

2. 取得の概要

【取得前】



【取得完了後】



3. 取得を行う連結子会社の概要

(1) 名 称	Kiddleton, Inc.
(2) 所 在 地	米国テキサス州ダラス
(3) 代表者の役職・氏名	President&CEO 伊与田 篤
(4) 事 業 内 容	米国におけるゲームセンターの運営 米国におけるミニロケ事業 等
(5) 資 本 金	15,369 千 US ドル
(6) 設 立 年 月 日	2019 年 7 月
(7) 持 分 比 率	株式会社 GENDA GiGO Entertainment : 100%

4. 取得する子会社の概要

(1) 名 称	Pixel Intermediate Holding Corporation	
(2) 所 在 地	1209 Orange Street, Wilmington, Delaware 19801	
(3) 事 業 内 容	純粋持株会社	
(4) 設 立 年 月 日	2023 年 11 月 14 日	
(5) 持 分 比 率	Pixel Parent Holdings, LLC : 100%	
(6) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当なし
	人 的 関 係	該当なし
	取 引 関 係	該当なし
(7) 財政状態及び経営成績※		
決 算 期	2024 年 12 月期	
連 結 純 資 産	36,726 千 US ドル	
連 結 総 資 産	133,475 千 US ドル	
1 株 当 たり 連 結 純 資 産	133 千 US ドル	
連 結 売 上 高	154,357 千 US ドル	
連 結 営 業 損 失 (△)	△5,159 千 US ドル	
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 損 失 (△)	△16,379 千 US ドル	
1 株 当 たり 連 結 当 期 純 損 失 (△)	△16 千 US ドル	
1 株 当 たり 配 当 金	-	

※上記の決算数値は、米国会計基準に準拠しております。Pixel Intermediate Holding Corporation は Open Gate Capital 社によって、2024 年 2 月に実施された Player One Amusement Group, Inc.、Playdium Acquisition Co. 及び Premier Amusements, Inc. が手掛ける事業(以下「本件事業」)の取得を目的として 2023 年 11 月 14 日に設立されておりますので、2023 年 12 月期以前の財政状態及び経営成績は記載を省略しております。また、2024

年2月のOpen Gate Capital社によるM&Aおよびその後の組織再編により連結親会社の変更が生じており、2024年1月についてはPixel Intermediate Holding Corporationを頂点とする連結財務数値に本件事業が含まれていない一方、本件事業の実態および2月以降にPixel Intermediate Holding Corporationに連結される本件事業の範囲には変更がないことから、上記「財政状態及び経営成績」においては、2024年1月の本件事業の業績及び2024年2月～2024年12月のPixel Intermediate Holding Corporationの業績を合算した数値を記載しております。

(参考：本件事業の過年度の財政状態及び経営成績)

財政状態及び経営成績			
決算期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
連結純資産	-	-	36,726千USドル
連結総資産	-	-	133,475千USドル
連結売上高	142,603千USドル	161,525千USドル	154,357千USドル
連結償却前営業利益	24,534千USドル	29,914千USドル	7,888千USドル
調整後連結償却前営業利益	24,235千USドル	27,621千USドル	18,257千USドル
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	9,076千USドル	15,440千USドル	△16,379千USドル
調整後親会社株主に帰属する当期純利益	8,776千USドル	13,147千USドル	8,223千USドル

注

- 2025年12月期は売上高160,000千USドル、調整後連結償却前営業利益20,000千ドル、調整後親会社株主に帰属する当期純利益9,000千ドルを計画しております。
- 本件で当社に連結される対象事業は、2024年2月のOpen Gate Capital社によるM&Aおよびその後の組織再編により連結親会社の変更が生じているものの、対象事業の実態および連結される事業の範囲には変更がないことから、過去3期間における実質的な対象事業の連結範囲の業績を記載しております。ただし、2022年12月期及び2023年12月期は2024年2月のOpen Gate Capital社によるM&A及びその後の組織再編による連結親会社の貸借対照表に相当する連結貸借対照表が存在していないことから、記載を割愛しております。
- 調整後連結償却前営業利益は、①2024年2月に実施されたOpen Gate Capital社によるM&Aに伴う一過性費用、②新型コロナウイルスにおける補助金等、を足し戻しております。
- 調整後親会社株主に帰属する当期純利益は、①及び②に加えて、2024年2月に行われ

た Open Gate Capital 社による M&A に伴い、2024 年 12 月期においては、借入利息が多く含まれているものの、当社グループによる M&A 実施後は、当該借入金を返済する予定であり、2023 年 12 月期と同水準の金利負担に戻ると想定されるため当該借入に係る利息を控除し、また、のれん償却費を足し戻しております。

5. 取得の相手先の概要

(1)	名 称	Pixel Parent Holdings, LLC	
(2)	所 在 地	1209 Orange Street, Wilmington, Delaware 19801	
(3)	事 業 内 容	純粋持株会社	
(4)	資 本 金	非開示	
(5)	設 立 年 月 日	2023 年 11 月 14 日	
(6)	純 資 産	非開示	
(7)	総 資 産	非開示	
(8)	持 分 比 率	Pixel Ultimate Holdings, LLC 98.6%	
(9)	上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当なし
		人 的 関 係	該当なし
		取 引 関 係	該当なし
		関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当なし

6. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式数の状況

異 動 前 の 所 有 株 式 数	0 株
取 得 株 式 数	1,000 株
取 得 価 額	取得価額 (概算額) 170 百万 US ドル
	アドバイザー費用等 (概算額) 4 百万 US ドル
	合計額 (概算額) 174 百万 US ドル
異 動 後 の 所 有 株 式 数	1,000 株 (所有割合 100%)

注

- 取得価額、アドバイザー費用等及び合計額の日本円換算（2025 年 3 月末 TTM レート 1 ドル当たり 149.52 円）は次のとおりです。

取得価額	(概算額) 25,418 百万円
アドバイザー費用等	(概算額) 598 百万円
合計額	(概算額) 26,016 百万円

- 株式取得に関する対価は全て現金とし、手元資金及び借入金を充当する予定です。

7. 取得の日程

(1) 取締役会決議日	2025年4月9日
(2) 契約締結日	2025年4月9日
(3) 取引実行日	2025年7月1日(予定)

8. 今後の見通し

本件に伴う当社グループの2026年1月期連結業績及び財務状況に与える影響につきましては、現在精査中です。事業の大幅な状況変化により財務的影響が生じる場合には、明らかになった時点で速やかに開示いたします。

なお、本件の取引実行日は2025年7月1日を予定しております。本件実行日以降のPLAYER ONEの損益は、2026年1月期の当社連結業績に反映する見込みです。

以上